

休眠預金活動事業「りぼら」は、がんサバイバーのための仕事のリハビリプログラムです。
この「りぼら」をスタートさせるにあたって、昨年（2020年）夏にロゴとキャラクターの原案を募集しました。
そして選ばれた入選作品を元にデザイナーの望月ミサさんにより生み出されたのが、このロゴとキャラクターです。
3回にわたって、その入選作品を生み出した方々のストーリーをお届けしています。

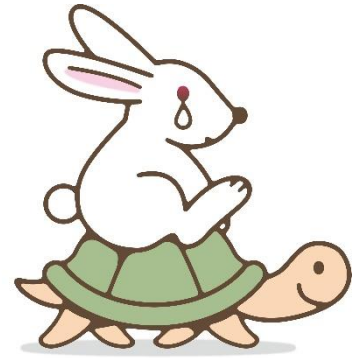
第3回（最終回）は、「キャラクター(表情)」の誕生秘話をお届けします。

第3回【キャラクター(表情)】岡さん、村山さんのストーリー

JCDA：この度はりぼらキャラクター(表情)の原案入選、おめでとうございます。

岡智子さん、村山民愛さんともに、昨年（2020年）8月に開催した、「ロゴ&キャラクター募集 ワークショップ」に参加され、その時に同じチームでアイデアを出し合い、描かれたそうですね。

りぼらキャラクターの「うさぎとカメ」の表情（泣き顔バージョン）の原案となった「3つのりんご」を描かれた岡さん、村山さん。ワークショップへの参加のきっかけは、「りぼら」に関わりたい、病気になって助けてくれた方々への恩返しの気持ち、だったそうです。



岡さん、村山さん：これには色々な意味があります。

- ①りんごの“り”、りぼらの“り”
- ②りんごの3文字、りぼらの3文字
- ③りぼらに関わる3者：がん患者、社会、支援者（キャリアカウンセラー）

さらにイメージは膨らみ・・・

3つのりんごをハート形にして、手で包み込みたい！

それぞれ違う表情～そう、泣いている顔もあったっていい～それを両手で支えるイメージ、さらに、過去、現在、未来などなど。

そして、手で支えているのは、社会が、がん患者を支えているということに加え、「自分が自分を受け入れる」という意味も込めたのだそうです。

こんなたくさんの意味を込めた「それぞれに表情の違う3つのりんご」がヒントになって、りぼらのキャラクター「うさぎとカメ」が生まれました。

JCDA：こんなエピソードがたくさん詰まった「りぼら」のキャラクター。

あなたもりぼらに参加して、カメさんと一緒にゆっくりと自分の歩みを進めてみませんか。■